

食は命なり、を信念に

株式会社 佑善



30年以上の選別実績と信頼

- 本社所在地：広島県福山市新涯町
- 事業概要：乾燥食品等の選別・異物除去・袋詰め加工および品質管理業務
- 常時使用する従業員：120名
(グループ全体・2025年3月時点)
- 現在の売上高：11億円
(グループ全体・2025年3月期)
- 法人番号：2240001032504
- Web：https://kk-yuzen.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
宮地 聡子

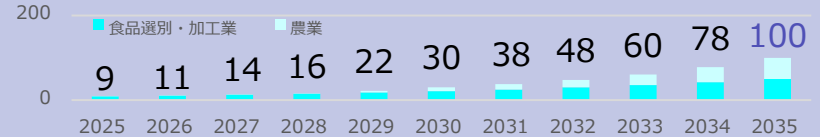
食の安全の最後の砦として、安心を届ける

株式会社佑善は「安心安全な食生活の維持への貢献」を企業理念に掲げ、異物除去・選別事業を祖業として、食の安全・安心に真摯に向き合ってきました。長年の現場で培った検査・選別技術と品質管理のノウハウを強みに、食の安心安全を支える「最後の砦」を担っています。近年は、その強みを起点に農業分野にも挑戦し、生産から加工・販売までを見据えた六次産業化を通じて、地域と次世代に誇れる食と農の基盤づくりを進めています。今後は、国内外への展開や人材育成を加速させ、社員一人ひとりの成長と処遇改善、そして当たり前に関心安全な食を届け続けられる社会の実現に、経営者自らが責任を持って取り組んでまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

現事業（選別・加工等）の収益基盤を強化しつつ、冷凍カット野菜・米など「品質と量の安定供給」を担う事業を拡大し、2030年に売上高30億円、2035年に売上高100億円を達成する。



課題

- ・原料・商品の安定調達／安定供給（供給網の多角化）
- ・品質保証の高度化・標準化（工程・教育の徹底）
- ・人材育成と定着（多言語化、技能平準化）
- ・新工場稼働に向けた生産性向上・省力化
- ・損益の見える化と迅速な意思決定（部門別・日次）

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・新工場・設備投資で冷凍カット野菜等を強化し、業務用の安定供給体制を構築
- ・海外委託等を活用し、米を含む供給網を拡張（BtoB中心の販売モデル確立）
- ・東南アジアとの輸出入を軸に、原料・商品の安定調達／安定供給を強化（輸入による調達多角化、輸出による販路拡大）
- ・取引先・連携先との協業を強化し、信頼パートナーとして定着
- ・工程・品質・損益のDXを推進
- ・現場改善を仕組み化し、成果を処遇改善・人材投資へ還元

実施体制

代表取締役直轄で100億推進体制を構築し、営業・生産・品質・DX・海外/調達の責任者を明確化する。2026年3月にグループ企業である宮地を当社に合併し共通KPI（売上・粗利・品質・生産性）で一体運営する。さらに新工場新設・稼働を見据え、設備投資・人材育成・業務標準化とデータ一元化を同時に進め、部門別・日次での見える化を行い迅速に意思決定する。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と課題

1 実現目標

祖業である異物除去・選別で培った品質管理力を核に、加工・調達・生産・販売までをつなぐ供給体制を確立し、10年後に売上高100億円を達成します。あわせて、人材育成と組織体制の強化を進め、安心安全な食を安定的に届け続けられる企業へ進化します。

2 主要課題

垂直展開に伴い、全工程での品質基準統一と再現性向上、処理能力・生産性の強化、東南アジアとの輸入調達・輸出販売を見据えた需給変動に耐える供給計画・在庫・物流の高度化が必要です。さらに、国内外の農業生産・海外農園運営に必要な人材・体制の整備、BtoC商品開発力と販路拡大の仕組みづくりが課題です。

3 実施体制

株式会社佑善を存続会社としてグループ機能を統合し、品質基準・教育・採算管理を一本化。企業としての経営基盤を強化します。

